

高山久藏 皆川利吉

二開 會

高橋峯吉ヨリ簡單ニ開會ノ辞ヲ述ヘ大會ノ萬歳ヲ三唱
紀念撮影ノ後散會セリ

右及申(通)報候也

別記(一) 運動方針に關する件

(一) 労働者の團結
労働者が生活の不安と不當な待遇に醒ると時自らの自己の防衛を計畫し
たげればならぬ。即ち労働組合を組織し、其の行動が労働運動である。この計畫は
吾々の自己を想ひ、國家を惟ひ、人類を惟ひ、時夫に相當する。對策をもつ事は
必然な行為である。云はれぬが、政治に於ては、産業革命の過程で、永久の歴史を持つ
的防衛から出発して、資本主義経済組織の發達の線に添ひて、現在の過程で、永久の歴史を持つ
日本に於ては、資本主義経済組織の發達の線に添ひて、現在の過程で、永久の歴史を持つ
ある。この運動こそは、決して非國家的に、或は非愛國的なものではない。而して
下等國體の或る者は、一切を擧げて、非祖國的、非愛國的なものではない。而して
吾々の元來日本の労働運動は、思想的に、進進し、唯物的の經過を経て、未だ夫
れは最も労働組合の本質ではない。労働組合は、労働者の間に、安んずる、思想的、誘惑たるもの
日本の労働運動は、断じて産業を、これに、安んずる、思想的、誘惑たるもの
日本の資本主義の發達の過程に、これに、安んずる、思想的、誘惑たるもの
に、飛躍した労働運動に、これに、安んずる、思想的、誘惑たるもの
の、下にあるか、労働者、日本、人たる以上、好んで、過去の、非國家的態度を
練る者もある。或る者は、労働者、日本、人たる以上、好んで、過去の、非國家的態度を
とす。或る者は、労働者、日本、人たる以上、好んで、過去の、非國家的態度を
労働者の生活に對する企業家諸君の態度、政府當局の態度等は、充分なる考究の
必要ありと信するものがある。